

北名古屋市鉄道周辺まちづくり構想策定委員会

第 1 回 会議 議事録（要旨）

平成 24 年 4 月 26 日（木）

午前 9 時から午前 10 時 40 分まで

市役所西庁舎分館 3 階大会議室

I. 委員等の出欠

区 分		氏 名	出 欠
委員	学識経験を有する者	萩原 周	○
		村山 顕人	○
	関係団体の代表者	田中 喜作	○※ 1
		粕谷 紀光	○
		森 政信	○
		梶川 康夫	○
		加藤 武治	○
		山田 彦逸	○
		高柳 慎	○
		魚住 實	○
		加藤 茂夫	○
		辻 一敏	○
		小野 芳照	○
		大野 茂	○※ 2
		中山 金一	○
	市議会議員	牧野 孝治	○
		堀場 弘之	○
		長瀬 悟康	○
	行政関係職員	鈴木 秀育	○※ 1
		高野 昌彦	○※ 1
		森 令治	○
		日置 英治	○
オブザーバー	行政関係職員	福田 光祐	○

※ 1：本人欠席（代理者が出席）

※ 2：途中退席

区 分		氏 名
事務局	北名古屋市都市整備課	井上 昭人
		真田 和佳
		丹羽 信之
		佐野川 貴弘
	愛知県都市整備協会	川上 晃一郎
		天谷 重治
	中央コンサルタンツ(株)	増田 典生
		黒田 清吾

Ⅱ. 議題等

- 1 委員委嘱
- 2 市長あいさつ
- 3 委員の自己紹介
- 4 まちづくり構想の策定の背景
- 5 北名古屋市鉄道周辺まちづくり構想策定委員会設置要綱
- 6 委員長、副委員長の選出
- 7 北名古屋市鉄道周辺まちづくり構想策定委員会の予定
- 8 議 題
 - ・現況調査
- 9 報 告
 - ・鉄道周辺まちづくりアンケート調査
- 10 その他

Ⅲ. 議事要旨

- 1 委員委嘱
＜策定委員の委嘱＞
- 2 市長あいさつ
＜市長あいさつ＞
- 3 委員の自己紹介
＜委員の自己紹介＞
- 4 まちづくり構想の策定の背景
事 務 局： ＜まちづくり構想の策定の背景（資料１）の説明＞
委 員： 特に意見なし

5 北名古屋市鉄道周辺まちづくり構想策定委員会設置要綱

事務局： <北名古屋市鉄道周辺まちづくり構想策定委員会設置要綱(資料2)の説明>

委員： 第3条に「委員会は、30人以内の委員をもって組織する」とありますが、現在の委員は23人です。必要に応じて、後から委嘱することはありませんか。

事務局： 必要に応じて、新たに委員を委嘱することはありません。

6 委員長、副委員長の選出

事務局： 委員会の委員長、副委員長の選出につきましては、設置要綱第6条第1項の規定により、委員の互選により定めることとしています。ご意見がありましたら、お願いします。

委員： 委員長、副委員長には、まちづくりに精通し、専門的な知識を持つ萩原委員、村山委員を推薦します。

萩原委員におかれましては、市内に立地する名古屋芸術大学の准教授であり、まちの状況を熟知しているとともに、過去には徳重・名古屋芸大駅周辺まちづくり委員会の委員長として、まちづくり構想をまとめられた経験をお持ちです。

また、村山委員におかれましては、国内外の都市計画やまちづくりに精通しているとお聞きしています。全国に誇れるまちづくりを北名古屋市で行うために、村山委員の知識や経験をお借りしたいと思えます。

事務局： 委員長は萩原委員、副委員長は村山委員を推薦するという発言がありましたが、いかがでしょうか。

委員： 異議なし

事務局： 異議なしということですので、萩原委員に委員長を、村山委員に副委員長をお願いしたいと思います。

委員長、副委員長にご就任いただきました、萩原委員、村山委員にあいさつをいただきたいと思います。よろしくお願いします。

委員長： 鉄道周辺のまちづくりは、息の長い重要な事業になると思いますので、できる限り丁寧に議論していきたいと思えます。よろしくお願いします。

副委員長： 建設的な議論が進むよう、委員長を補佐していきたいと思えます。よろしくお願いします。

事務局： これ以降の議事の進行につきましては、委員長をお願いしたいと思いますので、よろしくお願いします。

7 北名古屋市鉄道周辺まちづくり構想策定委員会の予定

委員長： 北名古屋市鉄道周辺まちづくり構想策定委員会の予定について、事務局より説明をお願いします。

事務局： <北名古屋市鉄道周辺まちづくり構想策定委員会の予定(資料3)の説明>

委員長： 事務局から説明がありましたが、ご意見、ご質問がある方は、発言をお願いします。

委員： 特に意見なし

8 議 題

・現況調査

委員長： 議題の現況調査について、事務局より説明をお願いします。

事務局： <現況調査（資料4）の説明>

委員長： ご意見、ご質問がありましたら、発言をお願いします。

委員： 道路と鉄道との立体交差化について、推進区域と検討区域の位置づけはどちらが上位になりますか。

事務局： 2頁の都市計画マスタープランの位置づけをご覧ください。徳重・名古屋芸大駅周辺では、道路と鉄道との立体交差化を推進することとしており、西春駅周辺では、検討するとしています。

徳重・名古屋芸大駅周辺では駅へのアクセス道路や駅前広場などの基盤整備が遅れており、立体交差化を含めたまちづくりの優先度が高いと考えています。

委員長： この他に、ご意見、ご質問がありましたら、発言をお願いします。

委員長： 他にご意見がないようですので、現況調査については、原案で検討を進めていくこととしますが、よろしいでしょうか。

委員： 異議なし

9 報 告

・鉄道周辺まちづくりアンケート調査

委員長： 鉄道周辺まちづくりアンケート調査について、事務局より説明をお願いします。

事務局： <鉄道周辺まちづくりアンケート調査（資料5）の説明>

委員長： ご意見、ご質問がありましたら、発言をお願いします。

委員： 特に意見なし

委員長： 以上で、本日の議題はすべて終了しました。ご協力ありがとうございました。

10 その他

委員長： 最後に、その他について、事務局より何かあれば説明をお願いします。

事務局： 第2回目となる次回の委員会は、6月25日（月）の午前10時からの開催を予定しています。

委員長： これで、本日の委員会を閉会とさせていただきます。ありがとうございました。

以 上